

# AQL東京西部リーグ個人戦のレギュレーションについて

AQL東京西部リーグの参加者であり、かつ、以下の3つのいずれかを満たすこと。

①2018年3月1日時点で大学or専門学校連続在学4年以下であること。ただし、一度社会人になった経験を持つ場合、こちらの条件は満たさない。

②2018年4月1日の時点で22歳以下であること。一度社会人になった経験があっても22歳以下であればこちらの条件を満たす。

③2018年3月1日時点でクイズ歴が4年以内であること。なお、クイズ歴とは一心精進（当時）掲載のクイズ大会に初めて参加したときから起算する。

# 予選 ローリングクイズ (all→16人)

?人

# プレーオフローリング (?人→4人)

- ・参加者を予選成績をもとに、予選と同様に並べる。ボタンは9個。
- ・予選を含めて120到達で勝抜け。誤答は即失格。

4人

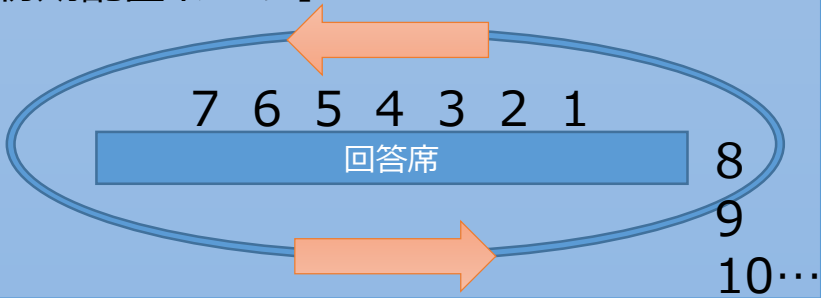
AQL東京西部リーグ  
個人戦企画書抜粋

- ・参加者を3部屋にわける
- ・各セット402×のローリングクイズを4セット実施。100に早く到達した16人が準々決勝進出へ、準々決勝進出できない80以上獲得者はプレーオフへ。

【ルール詳細】

- ・問題数限定は部屋の参加者×2問
- ・ボタンの数は7
- ・正解時は正解者が列の後ろに並び、正解者の後に先頭の者が並ぶ。
- ・誤答時は誤答者のみが列の後ろに並ぶ
- ・スルー時は、先頭のもの列の後ろに並ぶ。
- ・参加者がボタンの数以下になるまでは、間を空けずに詰めてローリングする。
- ・順位判定は「100到達の早さ」→「○の多さ」→「×の少なさ」→「101×プレーオフ」

【初期配置イメージ】



16人

# 準々決勝 703× (5人→2人×4)

- ・予選成績をもとに、蛇腹で4組にわける。
- ・各組上位1名と2位に10のアドバンテージをつけての703×
- ・40問限定で判定は「○の多さ」→「×の少なさ」

# 準決勝 ??? (8人→4人)

決勝 ???  
(4人→1人)

本ルールは11月9日現在のものであり変更になる可能性があります。